

「衣類」の資源循環・サーキュラーエコノミー実証等

～使用済ユニフォームや衣類の回収、再製品化を「ミライのフツー」に～（愛知県豊田市）



① 使用済みユニフォームの再生化、地域内福祉事業所の活用（雇用や労働機会の拡充）実証

② 衣類回収・資源循環に関する理解促進・普及啓発のためのイベント・セミナーの実施

➡「衣類は、廃棄物ではなく、価値ある資源のひとつ」と考え方を変える機会の提供

○当実証で得た知見・課題を活かし、当市の豊田市つながる社会推進実証協議会の枠組や様々なネットワークとの協働で広域での実装化に向けた検証を継続（予定）

事業の全体像

- ・事業者から排出されたユニフォームを市内の就労支援B型事業所が回収・分別・リサイクル工場への発送。リサイクルで再製品化。
- ・一般衣類をイベントで回収。衣類を原料に再製したノベルティ配布、「資源循環やリサイクル」に関するセミナーで3Rへの意識醸成を図る

ユニフォームリサイクルの取組

豊田市は、企業が使用する事業用ユニフォームのリサイクルについて、理解促進、課題把握、行動変容を目的に「BRING UNIFORM」の仕組みを展開する（株）JEPLANとともにリサイクル実証に取り組んでいます。



取組の様子



事業者ユニフォームの回収の様子



SDGs フェスタの衣服回収ブース

取組の成果

○回収・リサイクル対象となった衣服

事業者ユニフォーム： 684枚 363kg 参加事業者数：4社
家庭用衣類： 1,751枚 348kg

○普及・啓発イベント（オンラインセミナー）

来場者／聴講者 (2,184+300+7,652) + 29 = 10,136人

●当該実証やイベント等に参加した人達の多くは、「衣類の循環の仕組や取組を知らない」一方「仕組があれば活用したい」と意欲は高い。ユニフォームリサイクルは、ビジネスでの有益性をPRして推進していくことが有効だが廃棄物との差別化が課題。

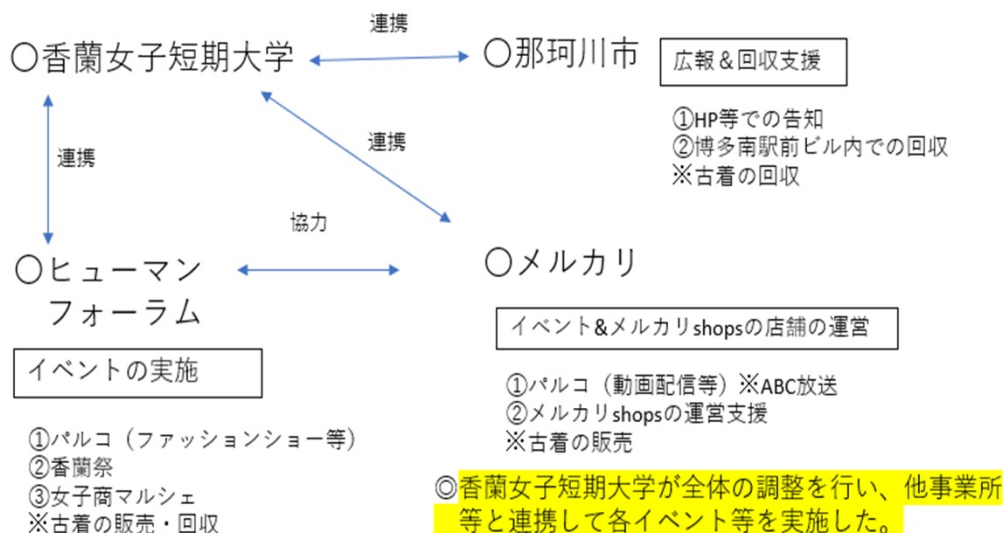
若年層（Z世代）における使用済衣類回収・循環のシステム構築に係る実証事業（学校法人山内学園 香蘭女子短期大学）



- 香蘭女子短期大学が、那珂川市（福岡県）、（株）ヒューマンフォーラム、（株）メルカリ等との連携により、古着の収集・アップサイクル等を行った上で、地域のフリマ及びフリマアプリで販売することで、地域の衣類廃棄の減少を図るもの。
- インフルエンサーと連携して、古着の活用・販売等をZ世代に向けてデモンストレーション・周知する活動を実施。

事業の全体像

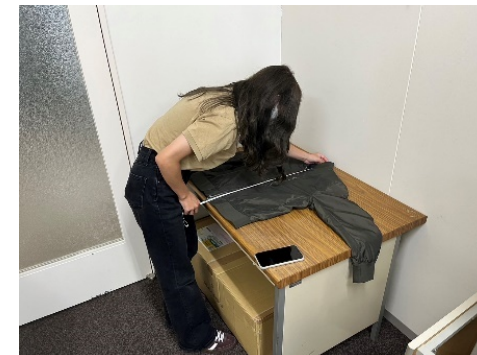
香蘭女子短期大学が、那珂川市、ヒューマンフォーラム、メルカリと連携し、古着の回収・販売を通して、地域の衣類廃棄の減少を図る。



取組の様子



①10/7のFAショー@パルコ



②メルカリshops出品準備

取組の成果

- ①ごみ削減量 回収量 146.34kg
- ②CO2削減量 約1.1t
- ③60%の人が洋服の手放し方に困っている。
- ④古着を手放す期間は1～3年が半数。
- ⑤パルコでのイベントで、90%以上の人に古着の良さを伝達できた。

地域内での使用済衣服の回収&循環のプラットフォーム 「RELEASE⇔CATCH」創出のための実証事業（京都市）

- リデュース・リユース・リサイクルの若者文化を醸成することを目指し、京都市内に衣服を回収する回収BOXを設置、回収した衣服のうち再利用可能な衣服を販売することで、循環の輪を広げる。
- 使用済衣服の回収と循環を体験できるイベント「循環フェス」を開催。
- 実証終了後も連携事業者によりビジネスとして継続する。

事業の全体像

使用済衣服の回収BOXを設置、回収した衣服は仕分け後、リユース可能な衣服は値付けし販売やイベントでの無料提供を実施。

不要になった衣服を回収BOXへ



取組の様子



古着店での回収BOX設置と販売の様子
(<https://release-catch.com/>)



11/12「循環フェス」開催の様子
(<https://junkan-fes.com/>)

取組の成果

- 本取組による成果（R5.8月～R6.2月）
 - 回収量：13,055kg、リユース量：2,646kg
 - 取組によるCO₂削減量：288.8 t-CO₂
 - 回収BOX設置数：市内常設84か所、イベント等での設置8回
- 11/12（日）開催「循環フェス」を開催（参加者12,000人）
- 高校、大学等への講演等による普及啓発
 - 取組紹介や回収した衣服の仕分け体験を5回実施。
 - 延べ407人参加

こども服交換会・フォーマル服レンタルの会・こども服おゆずり会 (株式会社京葉十二社広告社)



- 子どもの成長に応じて着られなくなってしまうこども服を持ち寄り、欲しい人がこども服の譲渡を受けたり、こども服を交換したりできるイベントを複数回実施。着る機会の少ない子ども向けフォーマル服については、レンタル可能なイベントを実施。
- 次年度以降、江戸川区内で同様の取組の実施を希望する団体・企業があった場合の支援を実施予定。
- フォーマル服レンタル会については、引き続き運営を継続。区内外の協賛企業を募って運営の持続化につなげる予定。

事業の全体像

江戸川区と連携し、公共施設において不要となったこども服の譲渡・交換のためのイベント等を開催。（以下は交換会の実施例）

12/23 (土) グリーンパレス

入場無料 エコバックご持参ください 交換の寄付受け付けます

こども服交換会

着なくなったこども服 欲しいこども服

ありませんか? こんなこども服

サイズアウトしても着られなくなった洋服。
気に入って買ったけれどサイズが小さくて着れずじまいの洋服。
お祝いやおさがりで頂いたら合わなかった洋服。

ぜひ、会場にお持ち下さい。
「着なかった服」が、どなたかの「欲しい服」になります。

開催日・場所
12/23 (土)
着られなくなったこども服をお持ちください。

①13:00～13:45 事前予約
②14:00～15:30 予約不要

会場 グリーンパレス 松島1-38-1
本館2階 千歳・芙蓉

着なくなった
こども服と
欲しい子供服の
無料交換が可能

江戸川区の
公共施設にて開催

取組の様子



こども服交換会の会場の様子

取組の成果

- こども服交換会・おゆずり会（計4回）の成果は以下の通り。
 - 参加世帯数：合計385世帯
 - 参加者が持ち帰った衣類の数：合計4,671枚
 - 各回におけるリユース率：26.2%～94.1%

※リユース率は、各回の持ち帰った衣類の数÷集まった衣類の数により算出。ただし、発生した在庫は後のイベントで活用しているため、実際にリユースされた衣服の割合は上記のリユース率よりも高い。

- フォーマル服レンタル会（2回）には合計52世帯が参加した。

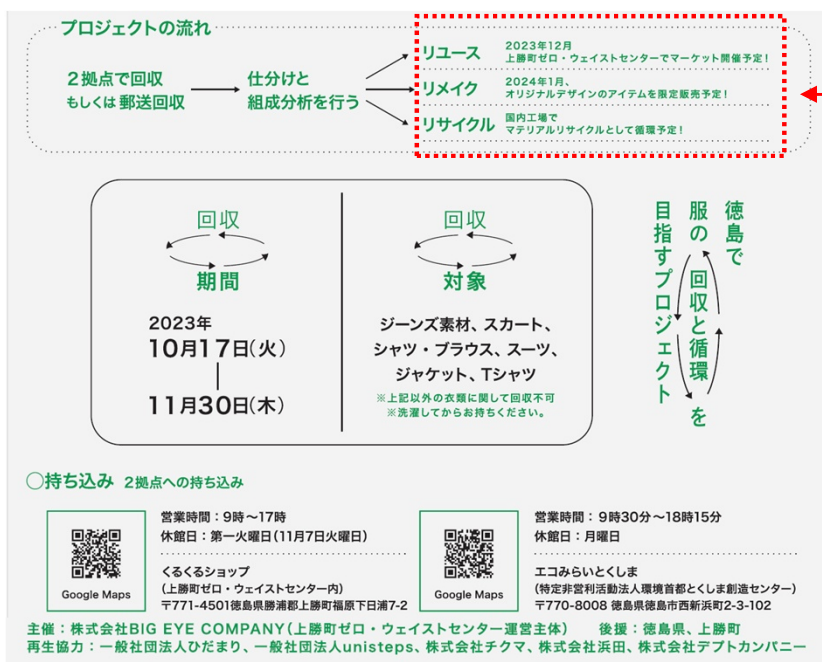
くるくるファッションプロジェクト（株式会社BIG EYE COMPANY）



- 徳島県内における廃棄衣類削減を目指し、回収した古着を活用したリユースイベントの開催、リメイク商品の販売、マテリアルリサイクルを順に実施した。また県内におけるサステナブルファッションの普及啓発を目的とし、一般消費者に向けたツアーや行政向けの勉強会を併せて実施した。
- 次年度以降も、年に1回のペースで県内での広域回収と企業連携による再利用・再生事業を継続予定。

事業の全体像

徳島県と上勝町より後援いただき、公共施設2拠点で対象衣類の広域回収し、回収した衣類は素材とアイテム別に仕分けを行った上で、各企業と連携しリユースイベントや勉強会の開催、商品開発、リサイクルを実施した。



【リユース】
一般社団法人
unistepsにご協力
をいただき12月24
日にイベントとスタ
ディツアーを開催。

【リメイク】
回収した衣類を使用
したオリジナルシャ
ツを、株式会社デ
プトカンパニーがデ
ザイン監修、一般社
団法人ひだまりが縫製
し、2月に販売開始。

【リサイクル】
株式会社チクマと連
携し北九州工場にて
車の内装材に反毛化、
株式会社浜田と連携
し大阪工場にて綿
100%衣類を再紡績
し、マテリアルリ
サイクルを行った。

取組の様子



上勝町ゼロ・ウェスト
センターでの回収の様子

12月24日開催
リユースイベントの様子

2月26日販売開始
リメイクシャツ商品

車内装材にマテリアル
リサイクルされる衣類

取組の成果

○広域回収量 1411.2kg → 再生量 1007.65kg

- リユース率 36%

リユース量 510.59kg (リユース506.79kg+リメイク6.74kg-ハギレ2.94kg)

- リサイクル率 35%

リサイクル量 497.06kg (再紡績23.6kg+反毛508kg-ロス34.54kg)

※在庫366.07kg分の衣類については、上勝町ゼロ・ウェストセンターで保管しており、くるくるショップで無料リユースを継続する予定。在庫分がすべて持ち帰られた場合、リユース率は62%となる見込み。